

## 1. 集計結果

### ○回答数

- ・保護者による評価 24人（26人中）
- ・職員による自己評価 14人（14人中）

### ○実施期間

- ・2020年12月25日～2021年1月15日

### ○評価の数値状況

- \*別紙を参照

## 2. 分析・討議

### ○保護者による評価

- ・「活動の場所の面積が適切であるか」は、「はい」が22人ある。「走り回って体を動かせ、ストレス解消ができ、助かる」「ホール以外の共有部分でも遊べる」という意見もある。ただし、「わからない」は2人ある。「高校生もいるので、もう少し広くてもいい」「年少児と分けるスペースがあるといい」という意見もある。施設は、基準面積を満たしており、指導訓練室は80㎡あり、決して狭いわけではなく、また、現実問題として、これ以上、面積を広げることができないため、さらに希望を言えば、ということだと思われる。
- ・「指導員の配置人数は適切であるか」は、「はい」が23人ある。「1対1で対応してもらっている」「いつも担当者がきちんと見てもらえる」という意見もある。指導員配置の手厚さが評価されている。
- ・「子どもにとって危険がともなうようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が20人ある。ただし、「わからない」が4人ある。「あまり部屋に入る機会がないため、わからない」「物が少なく、広々としているので、危険はないと思う」という意見もある。施設内を詳しく点検したことがない人もいるからだと思われる。
- ・「虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が23人ある。「安心して」「ゆうやけに預けているときが一番安心できる」という意見もある。虐待の心配なしに、安心して子どもを通わせることができると評価されている。
- ・「火災や地震、感染症などの対策がなされているか」は、「はい」が20人ある。「頻繁にアルコール消毒などをしてもらえた」「信頼している」という意見もある。ただし、「わからない」が4人ある。消防設備や火災報知器が設置され、防火・防災訓練や、感染症対策の研修会を行なっていることが伝わっていない人もいると思われる。
- ・「個人情報の取り扱いに十分注意されているか」は、「はい」が24人（全員）ある。
- ・「子どもの育ちの状況を確認、保護者との面談もしながら、個別支援計画書が半年に1回は見直し、作成されているか」は、「はい」が24人（全員）ある。
- ・「子どもに応じた活動が作り出されるとともに、屋内や屋外の活動、長期休業中

の活動などが工夫されているか」「子どもは活動を楽しみに参加しているか」「活動に満足しているか」は、「はい」が24人（全員）ずつある。「公園に連れていってもらえた」「おやつ作りは楽しかったようだ」「休日も、『ゆうやけ行く』と言っている」「毎日、とても楽しみにしている」という意見もある。活動内容が評価されている。

- ・「入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明がなされたか」「保護者の思いや願いを汲み取るため、懇切に対応されているか」「保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取られているか」「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会がつけられているか」は、「はい」が24人（全員）ずつある。
- ・「苦情などの意見を寄せたときは、懇切に対応され、改善策をすみやかに伝えられているか」は、「はい」が21人ある。ただし、「わからない」が3人ある。苦情を出したことがないので、どのように対応しているかわからない、ということだと思われる。
- ・「会報などが定期的に作られて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりされているか」は、「はい」が24人（全員）ある。
- ・「親子行事、きょうだいの会など、保護者や家族が交流できる機会が工夫されているか」「保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくろうとされているか」は、「はい」が22人ずつある。ただし、「わからない」が2人ずつある。「コロナ禍で行事が亡くなったのは残念」「コロナなので、できなかった」「コロナのため、そのような機会を作るのは難しいと思う」「コロナの影響で、父母会バザーなどができず、残念」「例年は、楽しい交流ができ、仲間の輪が広がっている」という意見もある。新型コロナウイルスの問題で、予定どおり実施できなかったからだと思われる。

#### ○職員による自己評価

- ・全体として、ほとんどが、高い自己評価になっている。
- ・「利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか」は、「はい」が12人ある。ただし、「わからない」が2人ある。「今の時期だと、狭いかもしいない」という意見もある。新型コロナウイルスの問題を踏まえての感想だと思われる。
- ・「食物アレルギーのある子どもには、保護者の指示にもとづいて対応しているか」は、「はい」が14人（全員）ある。「アレルギーに対応したおやつを用意している」という意見もある。
- ・「子どものことがわからないと感じたとき、早わかりしようとせず、（どうしてなのか）と、自らに問い続けているか」は、「はい」が14人（全員）ある。「子どものことがすぐにわからなくても、わかりたいと思いつけることが大切だと思っている」という意見もある。
- ・「子どものことがわからないと感じたとき、独りよがりの判断をせず、ほかの職員に意見を聞くなどしているか」は、「はい」が14人（全員）ある。「日ごろから、子どものことを、他の職員と話すようにしている」という意見もある。
- ・「子どもの発達は、ひたすら前進するのではなくて、新しい矛盾を抱え込むと押さえて、子どもを理解しようとしているか」は、「はい」が13人ある。「育ってきたからこそ、できなくなることもあるということ、保護者とも共有したいと思って

いる」という意見もある。

- ・「学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか」は、「はい」が14人（全員）ある。「子どもは、場に応じて、振る舞い方を変えていることを踏まえて活動するようにしている」という意見もある。
- ・「大人の目の育ちに応じてしか子どもは見えてこないという、自省的な意識をもって、子どもを理解しようとしているか」は、「はい」が11人ある。ただし、「わからない」が3人ある。自分をもっと育たなければ、という思いがあると思われる。
- ・「子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか」は、「はい」が7人ある。ただし、「わからない」が3人、「いいえ」が4人ある。外部の研修会は休日に行なわれることが多いため、非常勤職員の場合は、家庭などの事情で参加しにくい人もいることの表われだと思われる。また、新型コロナウイルスの問題で、外出しにくい状況も重なったと思われる。
- ・「保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか」は、「はい」が13人ある。「保護者がどういう気持ちなのか探り、汲み取っていけるよう、何気ない会話も大切にしている」という意見もある。
- ・「保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか」は、「はい」が13人ある。「悩みをすぐ解決することはできなくても、思いに共感し、寄り添えたらと思っている」という意見もある。
- ・「親子行事やきょうだいの会などを行なって、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか」は、「はい」が14人（全員）ある。「コロナ禍だが、感染対策をしっかりとりながら、交流の機会もつくれるよう模索している」という意見もある。
- ・「地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか」は、「はい」が14人（全員）ある。「会報を、近隣の住民に届けるなどしている」という意見もある。

### 3. 改善目標

#### ○保護者による評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。引き続き、安心して子どもを通わせることができるとともに、活動内容や、保護者との関係づくりなどが豊かであるよう、いっそう努力を重ねたい。
- ・施設整備や防火・防災対策の状況については、機会をとらえて、いっそう伝えていきたい。

#### ○職員による自己評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。引き続き、内部の研修会などをつうじ、子ども1人ひとりの内面を深く理解することを大事にしたい。一方的な講義ではなく、集団的に討議することを留意したい。
- ・外部の研修会への参加は、家庭などの事情があり、容易ではないが、機会をとらえて、参加を呼びかけたい。

### 4. 公表方法

#### ○保護者・職員への文書の配布（2021年2月より）

#### ○ホームページへの掲載（2021年2月より）